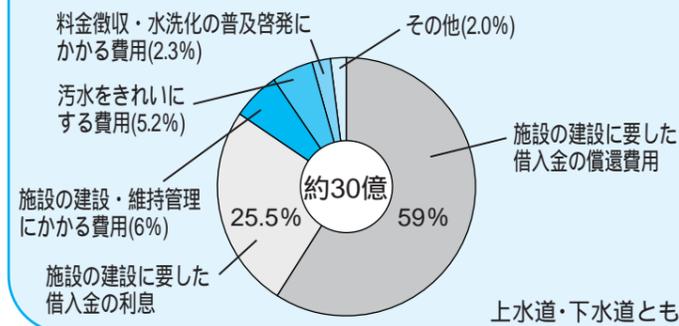
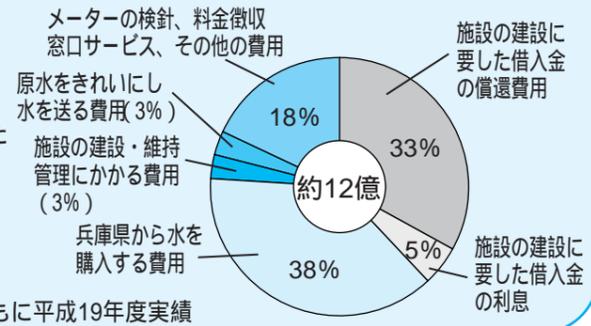


下水道にかかる費用の内訳



上水道にかかる費用の内訳



上水道・下水道ともに平成19年度実績

下水道の処理費用
次に汚水処理にかかる費用を見てみましょう。市では現在みなさまから下水道使用料として1m³当たり約百四十円をいただいています。

水道水を作る費用
市では、水道水を1m³当たり約二百六十円で利用者みなさまに供給しています。それに対して、水道水1m³を作る(購入する)には約二百四十六円の費用がかかっています。水道水を作るためには、原水を浄水場に運んできれいにしたり、みなさまのご家庭まで水道水を送る費用だけでなく、水道施設を造ったり維持管理したりする費用や、メーターの検針や料金徴収、窓口業務などにたずさわる人の人件費なども必要となります。

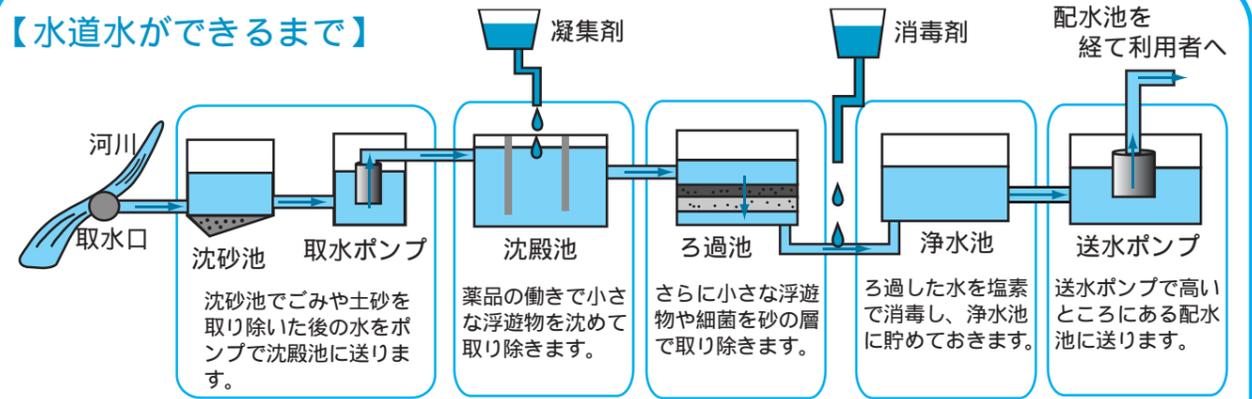
水道水を作る費用
水道水を作ったり汚水を処理したりするためには、どうしても費用が必要なのでしょう。水道水を作ったり汚水を処理したりするためには、どうしても費用が必要なのでしょう。

このように、多くの費用をかけて運営している上下水道ですが、利用するにあたりどのようになことに注意するべきなのでしょう。一番大切なのは水の無駄づかいをしないということです。標準的な四大家族の場合、一か月の水道使用量は二十八m³(二万八千ℓ)程度です。

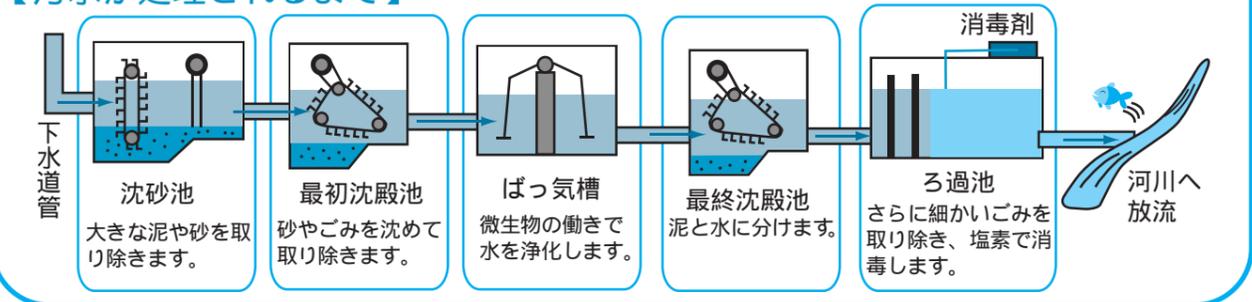
上下水道の利用にあたって
あなたの家庭はいかがでしょうか。もし使い過ぎかなと思われたら、節水を心がけましょう。平均以下でも水を大切にすることが大切で、使用量を増やさないように気をつけてください。また、設備を大事に使うというのも大切なことです。下水道にティッシュペーパーやおむつ(水に溶けないため)、油(冷えて固まるため)などを流すと、詰まりの原因となります。また

それに対して、汚水を処理するのに1m³当たり約五百六十一円のお金がかかっています。処理場の建設や下水道管の敷設には多額の費用がかかるため現在でも二百五十七億円あまりの借入金が残っています。平成十九年度においては、その返済に要する費用が全体の約八五%を占めました。

【水道水ができるまで】



【汚水が処理されるまで】



滝野浄水場の浄水池。2,000m³(2,000,000ℓ)の水を貯めておくことができます。

水道水ができるまで
ダムや河川などの水源で取水された水は、導水管などを通って浄水場に送られます。浄水場は取水した水を飲むようにする工場です。まず粗いごみが取り除かれた後、細かい砂や泥が取り除かれます。さらに小さいごみや細菌はろ過池でろ過し、最後に塩素で消毒します。このような過程を経て初めて安全に飲むことができる水道水となります。

水道水ができるまで

加東市の水道水がどこから来て、使った後はどこで処理されているのかを見てきました。それでは次に、実際に水道水を作ったり、汚水をきれいにするために、どのような作業が行われているのかをご紹介します。

水道水が届けられるまで

浄水場で作られた水道水が、浄水場から直接みなさまの家庭に送られるわけではありませぬ。まず浄水池に一時貯えられ、次に送水ポンプによって高いところにある配水池に送られ一度貯蔵されます。そして、配水池から送り出された水道水が、配水管を通じてみなさまのご家庭や事業所に届けられています。配水池は、水道水を貯蔵しておいて、使用量の時間変化に応じて円滑な配水を行うための施設です。水道水の利用量は季節によっても異なりますし、一日の内でも時間帯によって変わってきますので、その時々に応じた適切な水量を送り出しています。また、地震などの災害が起こったときには、緊急用水を確保する役割も果たします。

汚水が生まれ変わるまで

ご家庭や事業所で使われて汚れた水は、下水道管を通じて処理場に流れ込みます。処理場は水の再生工場で、汚れた水を浄化して川や海に返す役割を果たしています。処理場に流れ込んだ汚水は、まず沈砂池で大きなごみや土砂を取り除かれます。次に最初沈殿池で沈みやすい砂やごみを沈



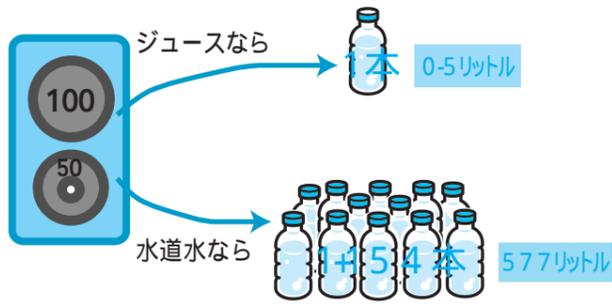
この地下にばっ気槽があります。(せせらぎ東条)

めて取り除きます。砂やごみが取り除かれた汚水はばっ気槽に運ばれ、活性汚泥微生物を大量に含んだ泥と混ぜられます。そしてここに空気を吹き込んでかき混ぜると、微生物が水の汚れを分解してくれます。次に最終沈殿池で泥と水に分けられ、ろ過池でさらに細かいごみが取り除かれます。最後には塩素で消毒されて、きれいな水に生まれ変わり、川や海に返されるのです。



処理施設で浄化された水は水路に放流されます。(せせらぎ東条)

同じ150円でも...



市では水道水を1m³当たり二百六十円で供給しています。みなさまはこの価格についてどのように感じられますか。例えば五百mlのペットボトル入りジュースは一本約百五十円です。ではこの百五十円で買える水道水は、どのくらいの量になるのでしょうか。1m³当たり約二百六十円という水道料金を当てはめてみると、ジュース一本分の百五十円で買える水道水は五百七十七ℓになります。これはなんと五百mlのペットボトル千五百五十四本分にも相当するのです。



鹿野川の清流(つくばねの滝)

に使い、きれいな水を川や海に返すことを心がけ、大切な水資源を守っていききたいものです。